

第2回 いわき市土木審議会

◆重要路線の選定方針

- 01 重要路線の目的と位置づけ
- 02 路線の評価項目と評価基準の考え方
- 03 支所への意見照会
- 04 重要路線のイメージ
- 05 本日の審議について




いつでも
わくわく
まらまら
IWAKI

◆重要路線の選定方針


- 01 重要路線の目的と位置づけ
- 02 路線の評価項目と評価基準の考え方
- 03 支所への意見照会
- 04 重要路線のイメージ
- 05 本日の審議について



必要な道路インフラを将来にわたり次世代に繋いでいくため、地域の基軸となる路線を選定


市道を取り巻く環境



人口減少・少子高齢化 

2030年人口 30万人以下 
2040年高齢化率 40%以上 


歳入/歳出 

歳入 減少 / 土木費抑制 
維持管理の必要経費 2倍 


インフラ老朽化 


加速度的に増加 
2054年 95%のインフラが50年経過 

道路管理者の責務

道路インフラの機能や性能を将来にわたって適切に維持する
必要な道路インフラを次世代に繋ぐ 

手段・方策 実務上の課題

予防保全型維持管理の導入 
維持管理コストの縮減、効率的な老朽化対策

※ 市道認定区分と実態の不一致 
交通量や沿線土地利用の変化、新たな役割






重要路線の 目的・意義

地域の基軸となる路線の選定

- ※ 市道認定区分は、つぎの3つに区分される
- 幹線 1 級市道 107路線
 - 幹線 2 級市道 108路線
 - その他市道 8,759路線

道路施策の基本となる路線として位置づけ

- 行政計画（まちづくりの経営指針）や、施設ごとの個別管理計画の策定など
- 各施策の具体的な事業路線の決定（重要路線の他に施策の目的に応じた要件を加えながら）

		重要路線	一般路線
日常的な維持管理 (パトロール、修繕)			
予防保全型管理 (維持管理水準：高)			維持管理の内容に応じて実施
緊急対応・災害対応			
事業路線 (行政計画等に基づく)			事業目的に応じて実施

メンテナンス

新設改良

- ◆ 本日は、これまで説明してまいりました「評価の考え方」や「評価項目」、「評価基準」について、最後にお示しした重要路線のイメージ図を参考に審議していただきたいと思います
- ◆ 本日の審議内容や頂いた意見をもとに、次回の審議会までに重要路線の検討を進めてまいります
- ◆ 次回の審議会では、選定された重要路線（案）を示しながら、「評価の考え方」や「評価項目」、「評価基準」について決定したいと考えております